

人生の終焉しゆうえんに向けた準備を行う「終活」が注目されている。とはいえ、相続や葬儀について何をどうすればいいのかわからない人も多いだろう。まずは、説明会や電話相談などで情報を集めることから始めてもいい。無料のものも多い。

(福森誠)

# 終活 始めよう

■説明会

誰にでもいつかは訪れる人生の最期。それに伴う葬儀や墓、遺産の相続などについて、生前から計画・準備しておくのが終活の主な中身だ。企業や団体では、無料で説明会を開催したり、相談窓口を設置したりしているところもある。

エンディングノートや遺言の書き方、葬式の種類と長所・短所、相続の対策……。12日、イオンの葬祭事業子会社「イオンライフ」が千葉市の



イオンライフの「終活フェア」で講師の話に耳を傾ける参加者たち(12日、千葉市内で)

企業・団体名	主な内容
イオンライフ	参加無料の終活に関するフェアや相談会を、全国で年間約100回開催。電話では1日24時間、年中無休で葬儀などの相談に無料で応じている
終活カウンセラー協会	監修するインターネットサイト「終活相談ドットコム」で全国の「終活カウンセラー」を紹介。年間約250回、終活に関する講演を行っている
SMBC日興証券	「相続相談マネージャー」を今月から支店に配置。今年中に国内支店の9割近くに配置し、参加無料の終活セミナーを月に1回ほど開催予定
クラブツーリズム	樹木葬や海洋散骨を体験できるツアーを首都圏で月に2、3回開催。料金は1万円前後

終活の相談や体験ができるサービスの例

## 家族で相談を

終活は、円滑な相続や必要資金の把握、家族との意思疎通などのためにも有効だ。

相続の際、遺産がそれほど高額でなくても話し合いがまとまらず裁判所に持ち込まれるケースもある。

最高裁判所の「司法統計年報」によると、2014年に調停が成立したか、審判で申し立てが認められた遺産分割事件は8664件。遺産額5000万円以下は約75%、1000万円以下は約32%を占めた。葬祭関係者は「一般の人は相続について考える機会が少ないので、

資産家より争いになりやすい」と話す。

一方、葬儀には多額の費用がかかる。日本消費者協会の「葬儀についてのアンケート調査」によると、13年の全国の葬儀費用の平均は188万9000円。200万円近い費用の手当でも必要だ。

また、第一生命経済研究所の小谷みどり主任研究員は、「子供らに迷惑をかけたくないと言う人がいるが、自分が考える迷惑と、子供らが考える迷惑は違う場合もある。葬儀や墓参りを行うのは家族なので、日頃からよく話し合っておくべき」と助言する。

## 散骨体験 無料カウンセラー

「イオンモール幕張新都心」で開いた「終活フェア」では、高齢者らが講師の説明に熱心に聴き入っていた。参加は無料で、妻(66)と参加した男性(71)は「いかに費用をかせずに葬式を行うか、という話が参考になった」と述べた。

終活関連のフェアや相談会を全国で年間約100回開催。電話では1日24時間、年中無休で、葬儀などの相談に無料で応じている。

「体験サービス」もある。クラブツーリズムは、墓石の代わりに樹木や花の下に遺骨を埋める「樹木葬」の見学や、遺骨を粉末状にして海にまく「海洋散骨」の模擬散骨ができるツアーを首都圏で月に2、3回開催。料金は1万円前後で、全国から参加者が訪れているという。

「終活カウンセラー」に認定している。

同協会監修のインターネットサイト「終活相談ドットコム」では、登録している全国約1000人の終活カウンセラーの氏名や連絡先を、市区町村別に紹介。職業は葬儀社や金融機関の社員、自営業者、主婦など様々で、ほとんどが電話や電子メールで無料相談を受け付けているという。

■樹木葬も

SMBC日興証券は今月、「相続相談マネージャー」を大都市圏の10支店に配置。今年中に国内全支店の9割近くの109支店に置く予定だ。

マネージャーは、相続に関する社内資格や終活カウンセラー協会の認定資格を取得。月に1回ほど無料でセミナーなどを開催する。